

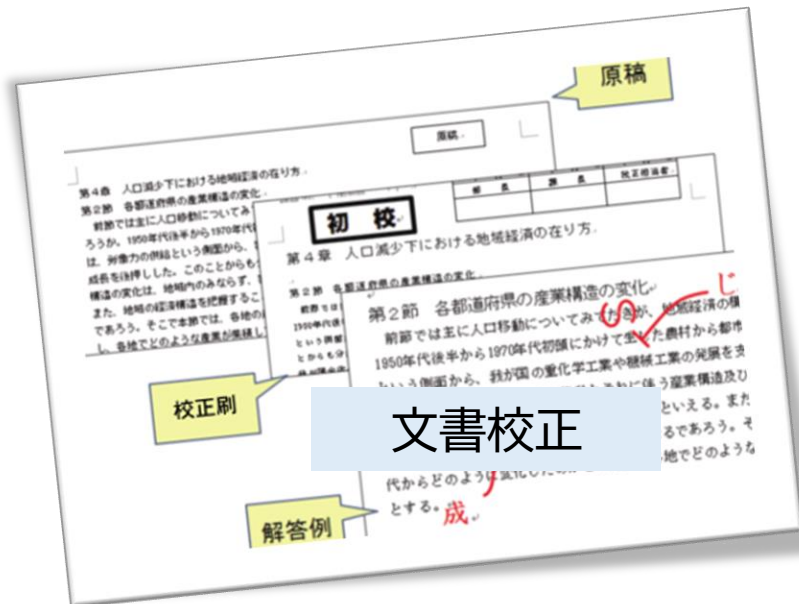
ワークサンプル幕張版(MWS)

「新規課題」の概要

障害者職業総合センター研究部門



給与計算



文書校正



社内郵便物仕分

ワークサンプル幕張版



- ✓ワークサンプル幕張版(以下「MWS」といいます。)は障害者職業総合センター研究部門で開発された「職場適応促進のためのトータルパッケージ」を構成するツールのひとつです。
- ✓MWSは様々な職務に対応できるワークサンプルとして、職業能力の評価だけでなく作業上必要となるスキルや環境(補完手段・行動、支援方法等)を明らかにしたり、作業遂行力を高めていくためのトレーニングができるツールです。
- ✓2007年からMWSを構成する13種類の課題(以下「既存課題」といいます。)が市販されています。



ワークサンプル幕張版

以下の表は既存課題の構成を示します。

| 作業領域 | 作業課題 | 内容 |
|------|--|--|
| OA作業 | 数値入力 文書入力 コピー&ペースト 検索修正 ファイル整理 | 画面に表示された数値を表計算ワークシートに入力する。 画面に表示された文章を枠内に入力する。 画面に表示されたコピー元の数値や文章を指定箇所にペーストする。 指示された内容にそってデータを検索・修正する。 画面に表示されたファイルを該当するフォルダに分類する。 |
| 事務作業 | 数値チェック 物品請求書作成 作業日報集計 ラベル作成 | 納品書にそって請求書の誤りをチェックし、訂正する。 指示された条件にそって物品請求書を作成する。 指示された日時・人に関する作業日報を集計する。 ファイリング等に必要なラベルを作成する。 |
| 実務作業 | ナプキン折り ピッキング 重さ計測 プラグ・タップ組立 | 折り方を教示するビデオを見た後、ナプキンを同じ形に折る。 指示された条件にそって品物を揃える。 指示された条件にそって秤で品物の重さを計量する。 ドライバーを使い、プラグ、タップ等を組み立てる。 |

新規課題

- 2012年度に既存課題の利用者を対象とした実態調査を行った結果、利用者からは「既存課題より難易度が高く、実際に行われている実務に近い作業課題を開発してほしい」というニーズがありました。
- このようなニーズの背景としては、
 - ① 多様な障害者に効果的に活用できる支援ツールの開発への期待
 - ② 作業遂行力の高い一部の利用者に対しては、既存課題では職業能力等の評価や作業遂行向上のための訓練としての機能を十分に果たせていないといった課題が窺われました。

新規課題

以上のニーズから、障害者職業総合センター研究部門では、3作業領域、3作業課題 から構成される「新規課題」を開発しました。

| 作業領域 | 作業課題 | 内容 |
|------|---------|--|
| OA作業 | 給与計算 | 画面に表示された社員1名分のデータに基づき、計算方法を記載したサブブックと社会保険料等に関する各種の表を参照して、給与計算に必要な各項目の値を計算し、指定されたセルに入力する。 |
| 事務作業 | 文書校正 | コラム、事務文書、報告書の原稿と校正刷を照らし合わせ、サブブックや報告書作成規定に従い、校正記号を用いて校正刷の誤りを修正する。 |
| 実務作業 | 社内郵便物仕分 | 葉書や封筒等の郵便物の宛先に書かれた部署(部・課等)や個人名に基づき、サブブックに記された仕分のルールに従い、郵便物を仕分ける。 |

①「給与計算」(OA作業)

給与計算

次の社員の、4月支給の給与を計算してください。
社員番号30011、女性、30歳、非役職、資格なし、標準報酬月額240,000円
通勤手当:公共交通機関利用の定期代(1ヶ月)
控除対象配偶者:なし
控除対象扶養親族:なし
1ヶ月の所定労働時間:162時間、普通残業20時間
所得者本人:障害者に該当

開始時間 : 15:58:11
経過時間 : 3分 54秒
ブロック数 : 1/ 1
LEVEL : 3
試行数 : 1/ 6

| | | | |
|------|--------|---------|---|
| 基本給 | 199720 | 健康保険料 | |
| 役職手当 | | 厚生年金保険料 | |
| 扶養手当 | | 雇用保険料 | |
| 通勤手当 | 7300 | 所得税額 | |
| 資格手当 | | | |
| 残業手当 | | | |
| 総支給額 | 207020 | 控除額計 | 0 |
| | | 差引支給額 | |

休憩

◆計算補助

残業手当の時間単価計算
基本給
() + () + () ÷ () = ()

残業手当計算
() × () × () = ()

課税対象額計算
給与総額
() - () - () - () - () = ()

MWS「給与計算」 サブブック

このサブブックでは、「MWS給与計算」に取り組みに当たってのねらいや手続きを説明しています。

別添資料には、保険料額や所得税額を特定する際に必要となる表を取めています。

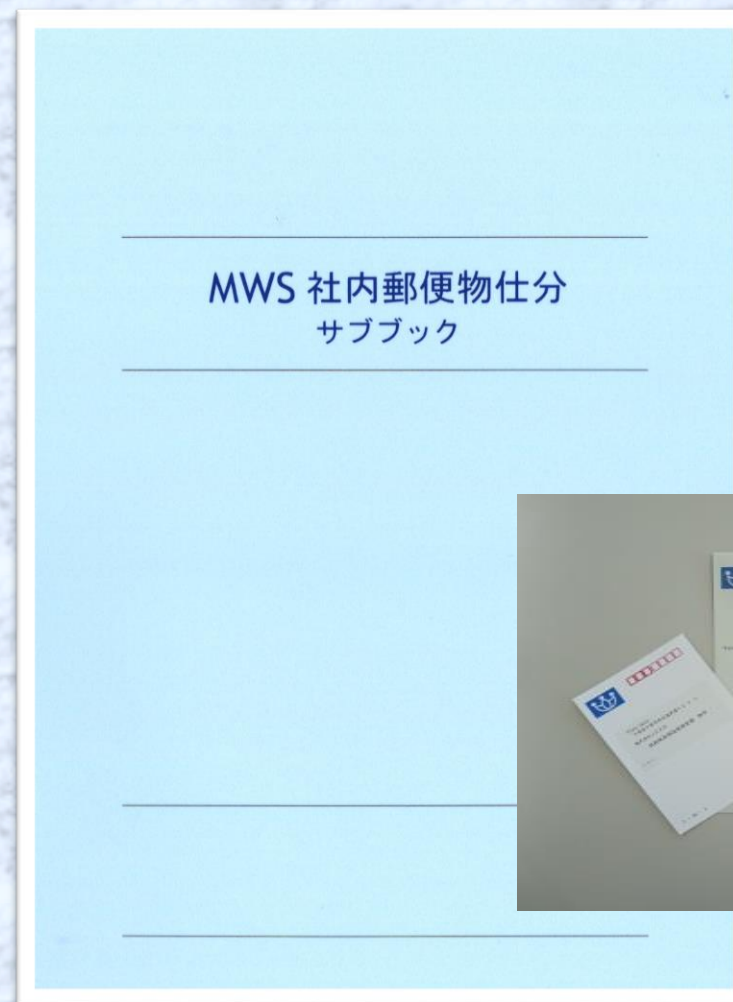
※本サブブックに掲載している通勤手当の非課税限度額は平成26年4月時点のものです。
実際には平成26年10月に改定されています。

②「文書校正」(事務作業)

二年、三年、田舎の生活に年期を入れてくるに従って、東京から送られる郵便物や、雑誌の数がすくなくなると、その郵便物の減りかげんは、田舎への埋れようの程度を示す。自分がここにいるということを人に知られずに、垣間から舞台をのぞき見するのはこころよいものである。私が東京を去って、この七月でまる四年に**原稿**建物が変化したであろうと想像される以上に人間が特に文学の上で変わっていることが数多くない雑誌や、旬刊新聞を見ても眼につく。殊に、それが現実の物質的な根拠の上立っての変化でなく、現実の掛声に過敏になりすぎて——あるいはおびえて飛び立っているように感じられる。めまぐるしい文学上の主張や流行の変化を田舎にいて一々知り得る由もないが、わけてもこの頃のあわだたしさは、東京にいても、二三个月仕事の雑誌新聞に目を通すひまなしにしようものなら、取り残されて分らな

二年、三年、田舎の生活に年期を入れてくるに従って、東京から送られる郵便物や、雑誌の数がすくなくなると、その郵便物の減りかげんは、田舎への埋れようの程度を示す。自分がここにいるということを人に知られずに、垣間から舞台をのぞき見するのはこころよいものである。私が東京を去って、この七月でまる四年になるが、その間に、街路や建物が変化したであろうと想像される以上に人間が特に文学の上**校正刷**ない雑誌や、旬刊新聞を見ても眼につく。殊に、それが現実の物質的な根拠の上立っての変化でなく、現実の掛声に過敏になりすぎて——あるいはおびえて飛び立っているように感じられる。めまぐるしい文学上の主張や流行の変化を田舎にいて一々知り得る由もないが、わけてもこの頃のあわだたしさは、東京にいても、二三个月仕事に打ちこんで新刊の雑誌新聞に目を通すひまなしにしようものなら、取り残されて分らなくなるのではある

③「社内郵便物仕分」(実務作業)



新規課題において強化・追加された機能

新規課題は、既存課題と同様に、**簡易版と訓練版** により構成されています。

- 簡易版:作業の体験、アセスメント
- 訓練版:つまずきやすいポイントの把握
効果的にスキルを獲得



新規課題の簡易版と訓練版については、
既存課題よりも強化された機能や新たに追加された機能がある
ので以下で説明します。

新規課題において強化・追加された機能

<簡易版①>

簡易版では以下の点が可能となり、**評価としての機能** が強化されています。

- ✓ 特に作業遂行力の高い対象者の、既存課題では把握されなかった
職場適応上の課題(行動特性やエラー傾向などの支援ニーズ)の把握
が可能。



新規課題において強化・追加された機能

<簡易版②>

- ✓職業上の強みとなる特性の把握が可能。
- ✓補完行動や補完手段の習得状況の把握が可能。

新規課題において強化・追加された機能

<訓練版>

訓練版では以下の機能が **追加** されています。

- ✓ 訓練に対するモチベーションの維持。
- ✓ 自己の特性への気付き及び事業所との調整事項の明確化。

新規課題の活用のポイント

①新規課題の 対象者

- ✓同時に複数箇所に注意を払うことが可能な方。
- ✓一定時間(少なくとも30分以上)は注意を持続することが可能な方。

新規課題の活用のポイント

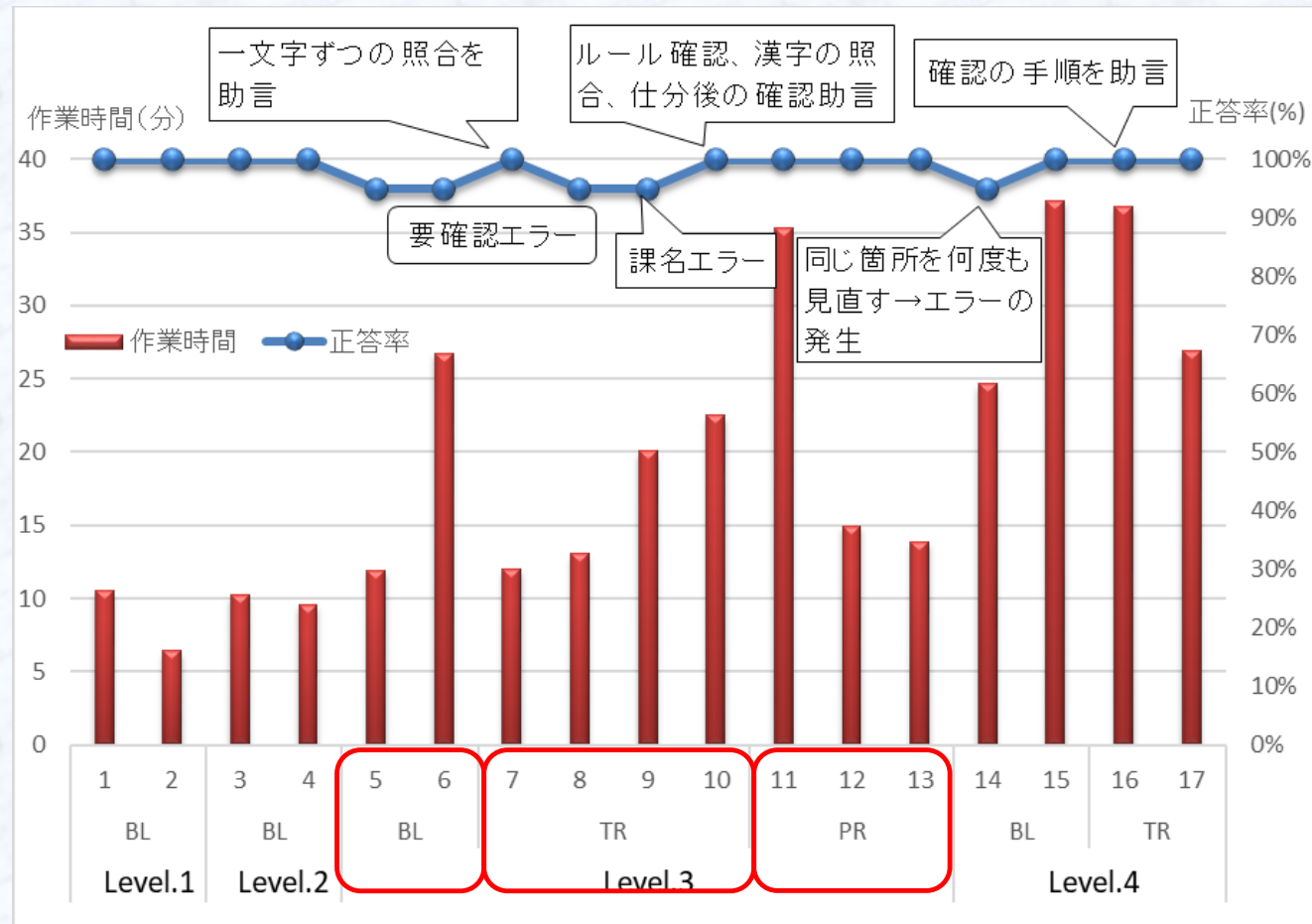
②新規課題を 活用するタイミング

安定した作業遂行に必要なスキルを確実に形成し、成功体験を積むという観点から、以下に留意することが望ましいとされています。

- ✓ 既存課題を活用し、アセスメントやトレーニングを行った上で新規課題を活用する。
- ✓ 特に既存課題の中でも難易度が高いとされる「物品請求書作成」「作業日報集計」「ピッキング」「検索修正」において安定した作業遂行が可能と判断された場合や、有効な補完方法が特定され、その習得状況を確認するために新規課題を実施する方が対象者にかかる負荷は少ない。

新規課題の活用のポイント

③新規課題の訓練版による 支援の方法



新規課題の理解を深めるために

新規課題についてより一層ご理解を深めていただくために **活用ハンドブック** を用意していますので、併せてご覧ください。



| | |
|-------------------|--|
| 「新規課題について知りたい」 | |
| ● 新規課題とは | |
| ● 新規課題の特徴 | 強化された機能／課題の発見と対策／既存課題よりも高い難易度の設定 |
| ● 実施方法を知るための参考資料 | 新規課題の実施手続きについて知りたい／新規課題の概要を対象者に簡潔に説明したい／対象者への簡易版の教示や対応等を支援現場で確認したい／エラーの内容や補完方法を確認したい／ワークサンプル幕張版で採用されているABA法について知りたい／ワークサンプル幕張版の背景理論を知りたい |
| ● 新規課題を使用する際の留意事項 | 「課題の難しさ」とストレス／新規課題を複数組み合わせる／作業の概要を十分に説明する／既存課題を活用する／新規課題を活用する目的を対象者と共有する／簡易版を活用する際の留意点／簡易版と訓練版の使い分け方 |
| ● 対象者の理解力に応じた作業指示 | |
| 「活用方法について知りたい」 | |
| ● 活用モデル | 簡易版活用モデルと訓練版活用モデルの共通事項／①簡易版活用モデル／②訓練版活用モデル |
| ● 活用事例集 | 補完方法の必要性を認識した事例／自身の特性理解と就職への希望を整理していった事例／補完方法への自信を深め就職につながった事例／復職に向けて疲労・ストレスへの自覚を持った事例／指示書を読み込む力を確認した事例／新規課題の活用が自信の獲得につながった事例 |
| 「対象者への対応に迷った時は」 | |
| ● 支援の開始時 | ①過集中傾向が見られる／②課題への違和感を訴える／③課題への理解が進まず時間が経過する |
| ● 訓練時 | ④エラーのフィードバックにより不安感を強くした／⑤訓練版への移行の判断に迷う／⑥補完方法の提案を受け入れてもらえない |
| ● 結果のフィードバック時 | ⑦ネガティブな感想が聞かれる／⑧振り返りが深まらない／⑨結果の受け入れて不安定になる |

今後の新規課題の活用

新規課題の開発により、**MWSの機能が充実・強化**されました。

今後は様々な職業リハビリテーション機関において、新規課題が既存課題とともに活用され、就職、復職後の職場適応への有効なツールとして活用されることが期待されます。

ご清聴ありがとうございました。

